



## 平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	3	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街					
重点課題	1	高齢者の地域生活支援の充実					
達成目標の状況							
施策番号	項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
1	地区福祉のまち推進センター拠点設置数(累計)	58地区	59地区	66地区	70地区	74地区	74地区
1	福祉推進員数(累計)	6,170人	6,174人	6,400人	6,500人	6,600人	6,600人
1	(福祉除雪)利用世帯の満足度	90.2%	94.3%	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
1	(福祉除雪)地域協力員の満足度	90.8%	92.5%	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
1	シニアサロンモデル事業設置数(累計)	6カ所	10カ所	13カ所	16カ所	20カ所	20カ所
1	シニアチャレンジ事業実施団体数(累計)	8団体	11団体	24団体	37団体	50団体	50団体
1	ねんりんピック北海道・札幌 2009の開催	開催準備	開催準備	開催準備	開催		開催 (21年度)
1	敬老優待乗車証の利用限度額	5万円	5万円	5万円	7万円	7万円	7万円 (21年度)
2	消費生活みまもり協力員の配置区数	-	3区	10区	10区	10区	10区 (20年度)
2	地区福祉のまち推進センター拠点設置数(累計)	58地区	59地区	66地区	70地区	74地区	74地区
2	福祉推進員数(累計)	6,170人	6,174人	6,400人	6,500人	6,600人	6,600人
2	(高齢者、障がい者の生活あんしん支援)総合的な相談窓口の設置	検討	検討	設置			設置 (20年度)
2	社会福祉協議会の法人後見事業の実施	検討	検討	実施	実施	実施	実施 (20年度)
2	(さっぽろ孤立死ゼロ)市民啓発に出向いた回数(参加人数 累計)	12回 (360人)	18回 (818人)	42回 (1,538人)	66回 (2,258人)	90回 (2,978人)	84回 (2,520人)
2	認知症サポーター養成数(累計)	1,862人	4,207人	5,800人	7,400人	9,000人	9,000人
2	高齢者向け優良賃貸住宅の認定戸数	147戸	147戸	197戸	247戸	297戸	347戸
2	借上市営住宅の認定戸数	894戸	986戸	1,088戸	1,188戸	1,288戸	1,298戸
2	(白石区)地域における要援護者への体制づくり	-	モデル地区 の選定	モデル地区 での取り組 み	モデル地区 での取り組 み	全地区 での取り組 み	全地区 での取り組 み
3	地域包括支援センター設置数(累計)	17カ所	17カ所	17カ所	17カ所	21カ所	21カ所
3	一般高齢者の介護予防事業の開催回数	2,645回	2,179回	2,645回	2,645回	2,645回	2,645回
3	特定高齢者の運動能力向上トレーニング事業、筋力向上トレーニング事業及び一般高齢者の転倒骨折予防事業への参加者数	1,702人	4,996人	5,000人	5,000人	5,000人	2,400人
3	特定高齢者の運動能力向上トレーニング事業、筋力向上トレーニング事業及び一般高齢者の転倒骨折予防事業の開催回数	895回	1,192回	1,200回	1,200回	1,200回	1,137回
3	(夜間対応型訪問介護)利用者数	-	12人/月	321人/月	390人/月	460人/月	460人/月
3	地域密着型特別養護老人ホームの入所定員数	51人	51人	136人	194人	252人	283人
3	(若年性認知症支援)交流会などへの当事者の参加者数	32人	23人	40人	50人	60人	60人
3	高齢者ひとくち講座開設回数	-	-	60回	120回	180回	180回以上 (延べ)
3	口腔ケアに関する介護予防事業の実施回数	241回	220回	370回	430回	500回	500回
	(以下余白)						

## 平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	3	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街				
重点課題	1	高齢者の地域生活支援の充実				
主な取組内容						
19年度(実績)		20年度(予定)				
<b>施策1 社会参加の機会の拡充と社会貢献への支援</b>						
福祉のまちづくり活動を推進する拠点である福祉のまち推進センター拠点設置数 新規1カ所(累計59地区) 地域住民などの協力員による福祉除雪 利用世帯数3,930世帯・協力団体数219団体・地域協力員数2,612人 高齢者の地域貢献に係る取組であるシニアチャレンジ事業実施団体数 新規3団体(累計11団体) 高齢者の活動の拠点となるシニアサロンモデル事業設置新規4カ所(累計10カ所) 全国健康福祉祭北海道・札幌大会(平成21年9月開催)実行委員会の設置・開催 高齢者の外出を支援する敬老優待乗車証の交付 交付申請人数 170,484人(申請率75.9%)	福祉のまちづくりをさらに推進するためのステップアップ事業の実施 地域住民などの協力員による福祉除雪 利用世帯数4,200世帯 高齢者の地域貢献に係る取組であるシニアチャレンジ事業実施団体 新規13団体(累計24団体) 高齢者の活動の拠点となるシニアサロンモデル事業設置新規3カ所(累計13カ所) 全国健康福祉祭北海道・札幌大会りハーサル大会の開催等 高齢者の外出を支援する敬老優待乗車証の交付 交付申請人数180,075人(申請率76.7%)					
<b>施策2 高齢者の安心を支える地域福祉力の向上</b>						
高齢消費者被害防止ネットワーク事業 中央、北、東の3区で試行実施 地域福祉権利擁護事業・福祉サービス苦情相談・高齢者虐待相談・障がい者あんしん相談の総相談件数 10,854件 マンションなどの集合住宅に住むひとり暮らしの高齢者の孤立死を防ぐためのさっぽろ孤立死ゼロ推進会議の開催、さっぽろ孤立死ゼロ推進センターの設置及び運営開始 認知症の方とその家族を支援するため認知症サポーター養成講座の実施 民間活力を活用した借上市営住宅の新規工事着手 2カ所(92戸) 階段室型の既設市営住宅に対するエレベーターの新規設置 3基 白石区地域住民等による要援護者支援体制づくり モデル地区選定	高齢消費者被害防止ネットワーク事業 全市で実施 判断力が低下した高齢者、障がい者などの成年後見制度を含めた総合的な相談窓口として「仮」日常生活あんしんサポートセンター」の開設(10月～) 社会福祉協議会による法人後見事業の実施 さっぽろ孤立死ゼロ推進会議の実施及びさっぽろ孤立死ゼロ推進センターの運営 民間活力を活用した高齢者向け優良賃貸住宅の新規認定50戸(管理戸数197戸) 民間活力を活用した借上市営住宅の新規工事着手 2カ所(102戸) 階段室型の既設市営住宅に対するエレベーターの新規設置 3基 白石区地域住民等による要援護者支援体制づくり モデル地区における具体的な支援策の検討					
<b>施策3 介護・保健福祉サービスの充実による健やかな地域生活の支援</b>						
要介護状態へ移行するのを防ぐための各種予防教室の実施 ・一般高齢者の予防介護事業開催回数 2,179回 ・特定高齢者の運動能力向上トレーニング事業等 開催回数1,192回、参加者数4,996人 夜間の定期巡回と通報による随時訪問を組み合わせた夜間対応型訪問介護事業 3カ所開設(利用者数12人/月) 自宅での生活が困難になった高齢者が介護を受けながら生活するための地域密着型特別養護老人ホーム工事着手 1カ所(定員29人;20年10月開設予定) 若年性認知症本人や家族などをサポートするための各種支援事業の実施 高齢者の食事アドバイスなどを行う高齢者ひとくち講座を実施するため高齢者食生活指針を作成 在宅療養高齢者に対して歯科医師による訪問診療を実施	要介護状態へ移行するのを防ぐための各種予防教室の実施 ・一般高齢者の予防介護事業開催回数 2,645回 ・特定高齢者の運動能力向上トレーニング事業等 開催回数1,200回、参加者数5,000人 夜間の定期巡回と通報による随時訪問を組み合わせた夜間対応型訪問介護事業 利用者数321人/月 自宅での生活が困難になった高齢者が介護を受けながら生活するための地域密着型特別養護老人ホーム工事着手 2カ所(定員合計56人) 若年性認知症本人や家族などをサポートするための各種支援事業の実施 高齢者ひとくち講座の実施 在宅療養高齢者に対して歯科医師による訪問診療を実施					
主な施設、サービスの整備水準						
施設(サービス)名	18年度末(現状)	19年度末(実績)	20年度末(予定)	21年度末(予定)	22年度末(予定)	22年度末(目標)
敬老優待乗車証	5万円	5万円	5万円	7万円	7万円	7万円
高齢者向け優良賃貸住宅	147戸	147戸	197戸	247戸	297戸	347戸
地域包括支援センター(介護・健康何でも相談センター)	17カ所	17カ所	17カ所	17カ所	21カ所	21カ所
特別養護老人ホーム	48カ所	49カ所	51カ所	54カ所	56カ所	56カ所

## 平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	3	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街
重点課題	1	高齢者の地域生活支援の充実
評価(成果)		課題
<b>施策1 社会参加の機会の拡充と社会貢献への支援</b>		
<p>高齢者が生きがいをもって地域生活を送るための新たな枠組みであるはつらつシニアサポート事業は着実な展開を見ている。また地域住民が主体となって行う福祉除雪等の福祉活動も高い評価を得ている。</p> <p>20年度はこれら事業の更なる充実に努めるとともに、平成21年に開催される全国健康福祉祭北海道・札幌大会の開催に向けた諸準備に本格的に取り組むものとする。</p>		<p>人口規模の大きい団塊の世代が高齢者となる状況にかんがみ、これら元気高齢者ができるだけ社会へ貢献できるような枠組みが求められている。こうした状況下を踏まえて創設されたはつらつシニアサポート事業をさらに発展させるためには、地域住民や関係団体との相互交流やネットワーク化の構築により、地域のニーズに即した多様な情報を共有することが大切であると考えられる。加えて、適時これらの事業効果等を検証し、適切にリニューアルを行い、より効果的な事業へとレベルアップすることが必要となる。</p> <p>また、住民の主体的なまちづくり活動を促進するため、地域の現状や課題等を的確に把握できるネットワーク体制の強化を図るとともに、活動の担い手の拡大と育成に努めることが必要となる。</p>
<b>施策2 高齢者の安心を支える地域福祉力の向上</b>		
<p>高齢消費者被害や孤立死といった高齢者を取り巻く今日的課題に対応するための高齢消費者被害防止ネットワーク事業やさっぽろ孤立死ゼロ安心ネットワークモデル事業、さらには高齢者への良質な賃貸住宅を供給する公的賃貸住宅等の整備など、高齢者が安心して日常生活を送るための整備が進められている。</p> <p>20年度はこれら事業のさらなる充実と高齢者の権利擁護などの総合窓口である「仮)日常生活あんしんサポートセンター」の開設や社会福祉協議会による法定後見業務の開始などにより高齢者の安心をサポートする体制をより一層充実させることとする。</p>		<p>高齢者が安心して日常生活を送るため、良質な住宅供給や市営住宅のバリアフリー化さらには新たな地域ネットワーク体制の構築など、ハード・ソフトの両面から安全・安心なまちづくりを推進している。今後の各種ネットワーク体制をより一層充実させるため、各ネットワークに係る関係機関さらにはこれらネットワーク間の相互連携や情報共有を図るとともに、継続的な事業周知を図ることが必要となる。</p>
<b>施策3 介護・保健福祉サービスの充実による健やかな地域生活の支援</b>		
<p>高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう、地域包括支援センターにおける相談業務や特定高齢者や一般高齢者を対象とした転倒・骨折予防教室といった介護予防事業なども着実に浸透している。</p> <p>平成20年度も引き続きこれら事業の積極的な展開を図るとともに、地域生活の拠点として地域密着型特別養護老人ホームなどの拠点整備を図るなど総合的な介護・保健福祉サービスの充実に努める。</p>		<p>改正介護保険法による「予防重視型システムの転換」を図るうえで、介護予防事業の担う役割は極めて大きいものと考えられる。将来的な介護サービス量の増加が見込まれる中、介護予防事業の一層の拡充のためには、早期拠点整備の実施及びこれに伴う人員強化を図るとともに各種事業内容の継続的な周知活動が必要となる。</p>
<b>今後の重点取組</b>		
<p>超高齢社会の到来が現実のものとなってきているなかで、高齢者を取り巻く複雑化、高度化する社会的諸課題についての早急な対応が求められている。このため高齢者が安心して日常生活を送ることができるよう、各分野の専門家などと連携する事業である高齢消費者被害防止ネットワーク事業や仮)日常生活あんしんサポートセンターによる相談業務さらには法人後見事業といった新たな事業について、一層の周知活動に努めるなど、これら事業の普及促進を図る。</p> <p>また、介護予防の導入を柱とした改正介護保険法を踏まえ、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう、介護予防支援の拠点となる地域包括支援センターの整備・充実を図り、安定した介護予防サービスの供給を推進する。</p>		

平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	3	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街
重点課題	1	高齢者の地域生活支援の充実

成果指標等の動向

項目1	週2回以上外出する高齢者の割合(単位:%)	項目2	町内会やボランティア活動、老人クラブ活動をしている高齢者の割合(単位:%)																				
<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>割合(%)</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>78.2</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>76.7</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>85</td></tr> </table>		年度	割合(%)	H18 (現状値)	78.2	H19 (実績)	76.7	H22 (目標値)	85	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>割合(%)</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>9.5</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>9.2</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>20</td></tr> </table>		年度	割合(%)	H18 (現状値)	9.5	H19 (実績)	9.2	H22 (目標値)	20				
年度	割合(%)																						
H18 (現状値)	78.2																						
H19 (実績)	76.7																						
H22 (目標値)	85																						
年度	割合(%)																						
H18 (現状値)	9.5																						
H19 (実績)	9.2																						
H22 (目標値)	20																						
<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>人数</th><th>施設数</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>9,021</td><td>6カ所</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>18,272</td><td>10カ所</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>48,000</td><td>20カ所</td></tr> </table>		年度	人数	施設数	H18 (現状値)	9,021	6カ所	H19 (実績)	18,272	10カ所	H22 (目標値)	48,000	20カ所	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>人数</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>1,862</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>4,207</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>9,000</td></tr> </table>		年度	人数	H18 (現状値)	1,862	H19 (実績)	4,207	H22 (目標値)	9,000
年度	人数	施設数																					
H18 (現状値)	9,021	6カ所																					
H19 (実績)	18,272	10カ所																					
H22 (目標値)	48,000	20カ所																					
年度	人数																						
H18 (現状値)	1,862																						
H19 (実績)	4,207																						
H22 (目標値)	9,000																						
<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>人数</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>41,228</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>50,195</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>58,500</td></tr> </table>		年度	人数	H18 (現状値)	41,228	H19 (実績)	50,195	H22 (目標値)	58,500	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>人数</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>1,702</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>4,996</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>2,400</td></tr> </table>		年度	人数	H18 (現状値)	1,702	H19 (実績)	4,996	H22 (目標値)	2,400				
年度	人数																						
H18 (現状値)	41,228																						
H19 (実績)	50,195																						
H22 (目標値)	58,500																						
年度	人数																						
H18 (現状値)	1,702																						
H19 (実績)	4,996																						
H22 (目標値)	2,400																						

成果指標等から見た重点課題の評価

高齢者団体などが自主的な運営を行うシニアサロンの参加者数や認知症サポーター養成数は増加傾向を示している。また、介護予防事業については転倒・骨折予防事業への参加者数が当初の予想を大幅に上回っており、当該事業に対する関心の深さがうかがわれる。